



第 34 回 関西障がい学生支援担当者懇談会（KSSK）の開催について（ご案内）

「関西障がい学生支援担当者懇談会（KSSK）」は、実務者目線を基本理念に、障がい学生支援に関する様々なテーマで活発な議論、意見や情報の交換、ネットワークづくりを行うための実務担当者の懇談会です。

◆日 時：2025 年 3 月 6 日（木）13：00～17：15

◆会 場：キャンパスプラザ京都 4 階 第 3 講義室他

（京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町 939）

《アクセス》京都市営地下鉄烏丸線、JR 各線、近鉄京都線「京都駅」から徒歩 5 分

◆対 象：関西圏の大学・短期大学で障がい学生支援に関わっている、または関心のある教職員

◆定 員：60 名（申込先着順）

◆参加費：無料

◆内 容：

時間	内 容
13：00	開会挨拶・事務連絡
13：10	<p>話題提供 『今大学で工夫している点（法律の変遷に従って）』 《話者》 鈴木 美佳子 氏 （大谷大学 学生支援部 学生支援課 障がい学生支援チーム チームリーダー/コーディネーター） 寺尾 藍子 氏 （京都精華大学 学生グループ 学生支援チーム 障害学生支援室） 《内 容》 2024 年 4 月 1 日に改正障害者差別解消法が施行され、私立大学においても合理的配慮の提供が法的義務となったことを受け、各大学では体制の整備や拡充が進められています。また、『障害のある学生の修学支援に関する検討会第三次まとめ』では、障がいの社会モデルに関する理解や具体的な対応の必要性を全学的に共有し、障がい学生支援を大学の基盤的な機能として根付かせる必要があるとされています。 今回の話題提供では、小・中規模の私立大学における体制整備の事例を 2 校紹介します。本話題提供を通じて、各大学での支援充実に向け、他大学での取り組みを知る機会にしたいと考えています。</p>
13：50	休憩・移動
14：00	<p>分科会</p> <p>A 社会的障壁・建設的対話について（レクチャー形式） 定員：20 名</p> <p>本分科会は、冒頭で社会的障壁の考え方と建設的対話のポイントをレクチャーし、その後、社会的障壁かどうか判断に迷った事例や建設的な対話が成立しなかった困難事例について、フロアの皆さんと意見を交えながら一緒に考える機会とします。参加される方には、事前にアンケートをいただきますので、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。</p>



	<p>B 管理職（マネジメント）が考える社会的障壁の除去 定員：10名</p> <p>第3次まとめに明記されているように、障がいのない学生を前提として構築された大学等の仕組みや構造が、障がいのある学生にとって社会的障壁となっている可能性があります。そのため、障がい学生支援の現場に関わる教職員のみならず、大学等の構成員全てがこのことを理解し、学生の学ぶ権利を保障するために体制整備を進める必要があります。そこで、本分科会では、社会的障壁の除去を目指した障がい学生支援に関わるマネジメント全般について議論する機会とします。参加者には、自大学の支援体制等について簡単にご紹介いただく予定です。また、可能であれば、資料（学生配布用のリーフレット等）を13部をご用意いただきますよう、お願いいたします。</p>
	<p>C コーディネーターの専門性（合理的配慮の判断、アセスメント、建設的対話） 定員：10名</p> <p>合理的配慮の内容検討や判断には、対話を通じてアセスメントを行うため、知識やスキル等の専門性が必要となります。本分科会では、配慮の判断の迷いや建設的対話の難しさなど、日々の取り組みから生じる不安や戸惑いの課題を共有し、合理的配慮の内容検討・提供にあたって必要なコーディネーターの専門性とは何かについて整理・懇談する機会とします。</p>
	<p>D 精神・発達障がいのある学生への対応（意思の表明、合理的配慮、保護者対応など） 定員：10名</p> <p>精神・発達障がいのある学生の合理的配慮や対応の中で、学生本人の自己理解や意思表示の難しさ、配慮の妥当性、保護者との関係など、担当者として悩むことも少なくありません。本分科会では事前アンケートを行い、学生の自立支援を意識したアプローチをとりつつ、学生の意思を尊重した形で調整を行っていくにはどのような工夫ができるか、参加者のみなさんで話し合う機会とします。</p>
	<p>E 障がいのある学生のキャリア支援 定員：10名</p> <p>障がいのある学生の修学支援については徐々に取り組みが進みつつありますが、キャリア支援については多くの大学等において難しい課題となっています。本分科会では、早い時期からのアプローチや修学支援と並行することの難しさ、学外の支援機関等との連携の課題、学生本人の自己理解だけでなく保護者も含めた共通認識を形成することの課題などに対して、どのような課題や取り組みのヒントがあるのか、少人数での意見交換により考えていく機会にしたいと思います。</p>
16:30	休憩・移動
16:40	まとめ
17:00 ~17:15	閉会挨拶
17:30	情報交換・懇親会

◆申込注意：以下、必ずご確認ください。

＜分科会の参加について＞

分科会A～Eにおける希望順位を第3希望までご選択ください。先着順となるためご希望に沿えない可能性もありますのであらかじめご了承ください。

【注1】分科会で取り扱うトピックスとして反映させていただくため、自大学で困っている事や課題、取り上げてほしいトピックス等を参加申込フォームにご入力ください。

(例) 予算的に障がい学生が求めている事に対応するのが難しい状態を、納得してもらえないのではないかと心配。

【注2】事前に所属大学の学生数、支援体制の有無（有の場合は課員の人数）を併記してください。

【注3】ご参加いただく分科会は、開催7日前頃にお送りするメールに記載し、定員を超える場合は、先着の方を優先して配置いたします。なお、分科会A～Eへのご参加に際しまして、個別アンケートにご協力いただく場合がございます。

◆申込方法：下記 URL の参加申込ページよりお申込みください。

<https://www.consortium.or.jp/project/dss/kssk>

※参加申込フォームが送信できない場合は別途メールにて対応しますので、下記の事務局（お問い合わせ先）までその旨をご連絡ください。

※頂戴した個人情報は KSSK の運営にかかわる目的にのみ使用させていただきます。なお、分科会運営の為、幹事会構成員から別途ご連絡を差し上げる場合がありますことをご了承ください。

◆申込期間：2024年12月17日（火）～2025年2月21日（金）まで（定員になり次第、締め切ります）

【主催】公益財団法人 大学コンソーシアム京都

【企画・運営】関西障がい学生支援担当者懇談会幹事会

【協力】京都大学 HEAP（高等教育アクセシビリティプラットフォーム）

以 上

【お問い合わせ先】

公益財団法人大学コンソーシアム京都 学生支援事業部 担当：辻野・齊藤

（事務開室時間）火曜日～土曜日 9：00～17：00

TEL：075-353-9189 FAX：075-353-9101 E-mail：gk-ml@consortium.or.jp